

ジューズ・メーカーリッタ

George C. Krick



クリツクに就いて

米國に於て名あるギタリストを挙げんとすればウキリアム・フォードン、オルコット・ピックフォード、ジョージ・クリツクの三人に指を屈しなければ成るまい。クリツクはフォードンの高弟であるが、今は獨立して教授に當つて居る。演奏技能は可成に人を魅惑するらしいが、非藝術的な米國は此有望なギタリストに、パンジョなどを教授せしめる程みじめな状態を呈して居る。クリツクが作曲を行つた事を聞かない。専門の演奏家である。茲に紹介する二稿の内一は十數年前の筆に成り、一は昨年の紀行文である。

ギター の 環 境

ギターの獨創的作品は古來卓越せるギタリストに依つて書かれ余等が一生を通じて研究するに充分である。余は之等がピアノ、ヴァイオリンのそれに比して音樂的價值の上より見て毫も遜色なき事を敢て斷言する者である。

余の觀察よりすれば多くのギター奏者は二つのフラット、四つのシャープ以上の伴奏をなし得ない故に容易なワルツやポルカは辛うじて奏し得るも到底メルツのファンタジーやレニアニーのカプリース等の内容を見る事は出來ない。

人々はギターコンサートの公開を輕視して居る。云ふ迄もなく之は劣等な素人があはれなギターを以てバンジョやマンドリンに對する容易しい伴奏を奏するのを耳にしたに起因する。ギター教師にして若し自己の生徒の數を増さんとすれば先づ其ギターの力を示さなければ成らない。

大音樂家の搖籃地であり且音樂國として知られる獨逸に於ては今や（譯者曰、此文は千九百八年即約十七年前に書かれて居る）ギターに對する一般人士の興味が不思議に進んで來た。之は二三年前有數のギター教師、ギター奏者を集め他國のギタリストをも之に加へて設立したギターリーグの預つて力ある事は疑ひない事實である。

米國に於てもアメリカンギルド（註參照）の演奏會が各州に開かれてギターの力を一般人士に理解せしめつゝあるが之を除いては要するにギター教師が其一小地方に於ける努力であつて完全なコンサートは聽き得ず従つて生徒を刺戟する力は甚薄弱である。

若し多數のピアノ獨演會がなかつたならピアノの教師は急激に生徒が減少するのを見るであらう。若しヴァイオリンの大家の演奏會、シンフォニー・オーケストラ等がなかつたならヴァイオリンの生徒や賞讃者は殆んど影をひそめてしまふであら

う。而して之はギターに對しても同様である。若しも十人の優秀なギタリストを我國全州に配置したならばギター奏者は激増するであらう。教師よ。公衆の前にギターを美事に演奏せよ。汝は優良なる生徒の多くを得べし」。

若し生徒が天賦の才能を有し、好んで弹奏し、且單なる商賣的奏者に陥らぬならば教師は是非とも彼を最後の目的地に達せしめなければ成らない。教師の重要な廣告は多くのギタリストを世に出すにある。

余は次に技術的方面よりギターを觀察したい。

ピアノを除いてギター程完全な獨立樂器は無いと云ふ事が偽であらうか。其豊満にして哀愁を含む音調はハープすら到底近接し得ない。若し奏者が正確に弹奏すればギターは非常に優美な而も力の籠つた旋律を生むものである。而してグリッサンドは卓越した効果を生ずるし、熟練したトレモロは多様の困難な形式をもつた曲を演奏し得るであらう。低音絃に於ける拇指と第一指（人指）との交互使用、高音絃

に於ける第一、第二指（時には第三指をも加はる）の交互使用は音階が圓滑に成る迄連日試みなければならぬ。唯次の一點には奏者が細心の注意を要する。

それは兎角に音階がレガトの却りにスタツカートに成り易い事である。

ギターのコード、アルペツジョを試みる時に余等は數多の和音の進行、或は錯雜した和音の組合を行ひ得る樂器よりも遙にギターが困難である事を思ふが而もバルレの研究を積むならば如何なるポジションに於ても困難の程度は遙に減少するであらう。

若し高音絃よりも中音絃、低音絃の音を強く出すならば汚しいものである。

善き奏者たらんとすれば善き聽者と成らなければ成らぬ。先づ自身の演奏をよく聽き、旋律が明瞭に現れて居るか否かを調べ次にノート固有の價值が表現されて居るかを注意しなければ成らない。高音絃の振動が次に低音絃を奏する際に不注意に止められて居る事が往々にしてある。

右手指の使用は一般に等閑視されて居るが而も重大事である。奏者は各指の運用に就いて徐々にして而も注意深い練習を続けなければ成らぬ。

左手指はフィンガーボードに於て確實に絃を押へコード全體を正確に強固に出す様練習を積まなければ成らぬ。

兎角にギタリストが中音絃に於て嫌惡すべき音調を出して居る事が多い。

若し奏者がカルカツシの教則本を使用するならば第一頁より最終頁迄其内の一小部分たりとも省略する事なく注意深く練習せねば成らぬ。此教則本に引續き同一作家の「六つのカプリース」と「二十五旋律的練習曲」を練習するを可とする。ソルの練習曲と容易なる小曲とは玆二、三年の間に生徒間に著しく使用される様に成つた。ウキリアム・フォードンの通俗的な作品（其中にはクラシツクな小曲や歌劇の編曲がある）を生徒間に勧めたい。ジュリアーニも今や再び持て囃され始めた。彼の數多の練習曲と獨創的幻想曲とは眞摯な練習生に興味をもたれる。

レニアーニの「三十六のカプリース」は獨創的ギター曲中の最も美しいものゝ一つとして認められる。

今余等はメルツ、フェルランテイ、アグワド、レゴンデイ、コステイ等の多くのコンサートソロやソルの困難なソナタやファンタジイを演奏すべき時機に到達して來た。

之等ギター藝術は實に無盡藏であり奏者にして研究進むに従ひ其卓越なる事が認められるであらう。

要するにギターは最天才的な生徒に依つて眞面目に注意深く研究せらるべきものである。若し其藝術を表面的に觀察するならば此の無比の優秀なる樂器の隠し持つた力は終に現れずに葬られ終るであらう。若し余等が協力一致して眞摯な研究を行ふならば數千の音樂愛好家は一齊にギターを謳歌し此絃樂器中の女王は再び昔の聲價を得るであらう。（記者註、本稿の内に記されたアメリカンギルドと云ふのは米國

に於けるマンドリン、ギター、バンジョの研究家の聯盟であつて時々の會合、研究會競演會等可成有效な仕事をつゞけたもので、恰獨逸のギター研究團と伊太利のコンコルソを綜合したかの感があつた。しかし今日では之さへ疲弊しつくした。

歐洲訪問記

歐洲に於ける三ヶ月間の音樂や其他の様々の經驗を限られた範圍にまとめ且正しい批判を下す事は筆者の手際を以てしては到底不可能である。従つて私はどんなに感激を與へられた事も之を捨て、只管音樂に關してのみ筆を取らねばならなかつた。

マゼスチック號の平凡極る航海を終へてロンドンに着くや否や私は此地に於けるバンジョー、マンドリン、ギター音樂の先覺者で而も私と最も意氣の投合したクリフオード・エセックスと久濶を叙したのであつた。そこで彼は次の様な興味ある消息を與へて呉れた。

アメリカのダンス、オーケストラに依つて始めてロンドンにテナー・バンジョーが紹介せられてから、本來のバンジョーは未だその人氣を維持して居るがマンドリ

ンやギターはロンドンのステイジから稍その影をひそめるに至つた。そのテナー・パンジョーの主な唱道者はエミール・グリームショウで、その樂器の演奏家並びに作曲家として間斷なき活動を續けて居る。その結果地方には意義ある運動を續けて居る幾つかの團體のある事は聞いたが現在のロンドンは一つのマンドリンオーケストラさへ持たない有様である。

ロイヤル・バレース・ホテルに於て私はその絃樂五重奏團のリーダーであるマリオ・ド・ビエトロなるマンドリニストを發見した。彼は私のために總ゆるマンドリニストを喜ばせないでは置かないあのカライチエ、アラール、クライスラー、ド・ベリオ等の數曲を快く演奏して呉れた。

ブラッセルに於ては幸ひにもマンドリンのヴァルトウオーゾとして、又そのマンドリンとピアノのための司伴樂や數種の小曲に依つて有名なシルヴィオ・ラニエーリに會ふ事が出来た。彼は又未だ上梓の運びには至らないが、新しいマンドリンの

教科書の著者である。其上彼は吾々と同様の樂器編成を有し、四十人の奏者からなるマンドリンオーケストラの指揮者であつた。そのオーケストラは第一、第二、第三、マンドリン、に加ふるにマンドラ五、マンドセロ四、フリエート、オーボエ、各一、ギター四、バス二、それに一つのハーブを持つて居た。私のブラッセル訪問中オーケストラは、その特別練習に於て數種の序曲やクラシックな曲を演奏してくれたが、それはオーケストラの技巧の整然たる事と合奏練習の周到な事を遺憾なく示して居た。

ラニエーリの聞かしてくれた二つの獨奏曲は如何にも美事に演奏された。恰もマンドリン・ヴァルトウオーゾと云ふ肩書が彼に對して如何にも當然である事を首肯せしめる様に。彼及そのオーケストラから用ひられて居るマンドリンは悉く伊太利型のもので美しい音色と底力とを持つて居た。

獨逸に就いては豫てからマンドリンよりもギターに關して、より多くの興味を抱

いて居たが私が獨逸に入つた際果して驚くべき事實が私を待ち設けて居た。

獨逸に於けるマンドリン音樂の運動として認めらるべきものは今より六年前に始められた、そして例の獨逸式の徹底的なやり方に依つて遂にこの運動は主な都市の總てを包含するに至つたのである。單にベルリンに於てすら三十人乃至百人の奏者を有するマンドリン・オーケストラ二十三を算へ、ライブチツヒ十、ドレスデン二十而してその他の都市も、それ相當、可成の數のオーケストラを持つて居る。

獨逸マンドリン、ギター協會は一九二〇年にアメリカン・ギルドと同様の計畫を以て創立された。目下二萬の會員を有し、尙續々増加しつゝあるさうで、その定期の集會は二年毎に異つた都市に於て催される。

その會合は、三、四日にも及び、その間マンドリン、オーケストラや室樂が演奏され同時に協會の事務やプレクトラム樂器の教授法を議する集會も開かれる。地方の支部は毎年シーズンには一回の演奏會を行ふ事になつて居る。

この會合の特色は多くのマンドリン、オーケストラの出演する事であつて、その結果、相互の競争心を喚起し、演奏成績の向上のため努力する事を奨励する。最も私の印象に残つたのは之等のマンドリン、オーケストラの指揮者達が、いづれもアカデミックな教育を受けた音樂家で且つその多くは各都市の主なシンフォニー、オーケストラに位置を有する事であつた。

ベルリンのカール・ヘンツェは私が嘗て聞いた中で最優れたマンドリン、オーケストラの會長であつて、シーズン毎に催される、そのオーケストラの美事な演奏會は實に彼に依つて、よく保護奨励された結果なのである。

ライブチツヒの優れたマンドリン、オーケストラを率ひるホルマネツクはマンドリンオーケストラ用の交響樂（作品第三十七）の作者で、その交響樂は最近ハーバードに於ける協會の演奏會に上演されて多大の喝采を博したさうである。之等の演奏會のプログラムは常に優れた作品のみで埋められる。即ちベトヴィゲン、モツアル

ト、ジューベルト、ワグナー、ウエーベル、ヴェルディ、オッフエンバッツハ等の交響樂、序曲等がそれである。協會の雑誌はライブチツヒで發行される。私の手にしたその八月號はマンドリン、ギターに關する興味ある記事で滿されて居た。其他數多の音樂雜誌もプレクトラム樂器のために、その頁を提供して居るが一方樂譜出版商も此の運動の熱心な支持者であつて今や優秀なマンドリン、オーケストラ用の樂譜は續々出版され、それには必ずフリエート、ハープ、ティムパニのパートを含むで居る。協會の次ぎの總會は一九二六年にマインハイムに於て開かれる豫定である。もし讀者諸君の中で同年に歐洲の旅行を企てられる方があるならば其の旅程に當然マインハイムを加ふべきではあるまいか。

由來獨逸人は交際好きであると云はれて居るがギターと云ふ樂器はその様な場合人々の親交を増す上に於て極めて優れた道具と云はねばならぬ。恐らく之が今日の此國に於けるギター音樂の光輝ある復興を齎した原因と思はれるのである。夏の休

暇に森林や山嶽地方に漂ひ出る獨逸の學生達の肩には、旅の愉快を増すためにギターやリュートの掛けられて居るのを見ない事はない。

獨逸ギター協會（前記のマンドリン、ギター協會と混同してはならない）は目下約二千人の會員を有する事を誇つて居る。大都市の殆ど全部には四人乃至三十人の會員を有するギター俱樂部があつて週に一回合奏練習のために集りシーズンには優れたソロイストの贊助出演の下に演奏會を開いて居る。協會の本部があるミュニヒは優秀なギタリスト達の根城であつて就中その最優れた一人こそ、その樂器の演奏家並びに作曲家として令名あるハインリッヒ・アルバートである。彼はギターを現在の位置に向上せしめるために、總ゆる努力を惜しまなかつた。例へば彼は四冊からなる廣汎且つ清新な内容を有するギター教科書や二部合奏曲、三部合奏曲、四部合奏曲の作者であり、傍ら多年絶版となつて居た古いギター音樂の優秀なものに校訂を加へて出版した。

此地に於ける若いギタリスト、フリッツ・シュールホルツとフリッツ・ウオルツンは屢々その演奏を公にした。此二人は共に立派な技巧と美しい音色の持主でそのプログラムは古典より近代に至る優秀な作曲家の作品を網羅して居た。この二人以外に私にはミューニツヒ、ギター、クワルテット（ブツク、ハウザー兩氏がテルツギター、フオイエルライン嬢がギター、デンベル氏がバスギター）の演奏を聞く事が出来た。（因にバスギターは本來のギターより五度低くチューニングされる）その曲目はジュリアーニのソナタ（作品第十五）ソルのソナタ（作品第十五）のクワルテットに編曲されたもの及びその編曲者であるロイメル博士の作に或る獨創的の四部合奏曲を含むで居た。之等の編曲はいづれも美事に且つ全く音楽的で、前記の樂器の結合も非常な魅力を持つて居た。ロイメル博士は又降誕祭のカンタータ「聖夜」の作者である。このカンタータはルドウイツヒ・トーマの詩に據つたもので、合唱、四部合唱、獨唱に四部のギターとオルガンの伴奏とを持つて居る。

此曲は四部合唱と六十人の女子合唱團、二十五人のギターに依つて演奏されロイメル自身はオルガンのパートを奏した。聞く所に依れば其の音樂的效果は全く驚嘆に値ひし、次の週にも引續上演され更に今年のシーズンにも演奏を企て居られる程素晴らしい評判を獲ち得たさうである。

ギター協會の會長ブツク氏は歐洲のギタリスト中最も傑出した人々を獨逸の二十五の都市に涉つて演奏旅行せしむべく手配をした。而して此の企てに依つて一般獨逸人のギターに對する注意を喚起する事に貢獻する所が尠くなかつた。それ等傑出したギタリストとは即ちポロニーユのモツツァーニと西班牙のリヨベット竝にセゴピアの三人である。今一人の彼の有名な西班牙のギタリストでタルレガの高弟であるブヨールは目下巴里に居を構へて數多の子弟に擁せられて居る。私は同じく西班牙のギタリストでコロニーユに住むザバテル（彼は比類のない美しい音色のギターの所有者であつた）と共に一日ブヨールを訪問した。それは全く愉快な訪問だつた。

私達は半時間に涉つてコスタ、ツル、メルツ、タルレガの作品の素晴らしい演奏に聞き惚れたのであつた。

十一月十二月の間に獨逸の大都市に於ては各二十回のギター、レサイタルがリヨベットとセゴビアに依つて行はれた。而して二人はその驚嘆すべき演奏に依つて新聞紙と好樂家の賞讃の的となつたがミエーニツヒに於けるセゴビアのレサイタルの如きはパデレウスキーやクライスラーのレサイタルに比すべき光景を呈し聽衆はセゴビアが何回となくアンコールしなければ場を去らなかつたと傳へられて居る。他の主なギタリスト達も亦交々ライブチツヒ、ベルリン、ハノーバー、ハムブルグ、アウスブルグ、に出かけて行つて演奏を試みた。實際之等の町にも亦優れたギタリストは澤山居たのではあるが……。

ウィーンに於ては今やギターは國立の音樂學校に於て其の價值を認められた。その教授にはヤゴブ・オルトナーが任せられ、選ばれた五十人の生徒は私の同地に到着

した一週間前、既に彼の下に此樂器の研究を開始して居た。

ギター協會は毎月二回雜誌を發行し、それには種々興味ある消息を掲載するのみならず、會員にギター並びにその演奏者に關する出來事を遺憾なく報道して居る。

今日の歐洲では、ソロイストの演奏するツル、タルレガ、アルバート、ジュリアーニ、コスタ等の作品はいづれも全くポピュラーなものに成つて居てリヨベットやセゴビアはそれ等に更にバッハ、ハイドン、モツアルト、メンデルゾーン、アルベニス、グラナドス等の作品を加へて居る。

最後に臨むで私は數名の著名なソロイストに就いて得た印象を述べたいと思ふ。それは我がアメリカの霸氣に富むギタリストやマンドリニスト達のよく玩味し考ふべき事である。

即ち今日の歐洲に於てはソロイストの技巧が優秀でなければならぬと云ふ事は、當然過ぎる程當然の事であつて、敢て問題にさへ、されないのである。

唯音楽家獨特の性格やプログラム編成上の特色が聴集に至大の影響を及ぼすのであつて且つ又この點が單なる演奏者を藝術家から判然と區別して居るのである。